

科目名 (科目番号)	臨床実習Ⅱ (062323)	教員名	桐山 希一 渡邊 昌宏 理学療法学科全教員	学科等	理学療法	必須	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	6
				オフィスアワー		火～木	8:00～9:00 A308	
授業概要	<p>これまで学内で学習した知識と技術を踏まえて、医療施設や介護施設等において臨床実習指導者の指導のもと理学療法を計画するために必要な検査および評価の実際について学ぶ。 理学療法に関する情報を中心として具体的な検査項目や情報等を多面的に統合し、ニーズを把握した上でリハビリテーションの目標を定め、適切な問題点の抽出、個々の患者さんに適した治療計画を立案する過程を理解することを目的とする。</p>							
準備学習								
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	実習準備教育	<p>学習内容: ・臨床実習Ⅱの目的および概要の説明 ・臨床実習Ⅱを経験した先輩学生との意見交換 ・診療記録や実習ノートの書き方、実習内容および症例に関する記録の作成方法の指導 ・実習関係書類の作成、事務手続きの説明 ・保健衛生指導 ・社会人として知っておくべき接遇、身だしなみ、マナーについて (就職指導課、外部講師による講義) ・外部講師(理学療法士)を招聘して臨床実習指導者として学生へのアドバイス ・臨床実習Ⅱ指導者会議に出席して臨床実習指導者との面談 ・その他、臨床実習のために必要と考えられる事項の説明や作業</p>					
	2							
	3							
	4							
	5							
	6	臨床実習 (6週間)	<p>到達目標: ・臨床実習指導者の助言・指導のもと、理学療法の問題点の抽出、目標設定、治療計画を立案する過程を理解する。</p> <p>学習内容: ・指定された施設において、6週間(30日)の実習を行う。 ・実習中は、原則として実習施設(臨床実習指導者)の指示に従って行動する。 ・実習指導教員は学生との面談や実習期間中の実習施設への訪問などを行い、健康状態および出欠状況の確認、学習の支援を行う。</p>					
	7							
	8							
	9							
	10	実習後学習	<p>学習内容: ・実習指導教員の指導を受けながら、実習した内容についてまとめ、報告する ・実習施設にて作成し、臨床実習指導者のもとで作成した実習の記録を提出</p>					
	11							
	12							
	13							
	14	総括						
15								
成績評価の方法・基準	単位認定に際しては採点表に基づき評価(100%)する。60%を合格とする。							
教科書	標準理学療法学 専門分野 臨床実習とケーススタディー			鶴見隆正 編集		医学書院		
参考図書								
教員からのメッセージ	不安や疑問に思うことがたくさんあると思います。些細なことでも勝手に判断せず、すぐに教員に相談してください。長期間にわたる学外での実習となります。充実した時間を過ごすためには心身の健康管理も大切な課題であることを忘れないでください。							